コミュニティへの投資

コミュニティへの投資に対する考え方

当社グループは、良き企業市民として地域社会との共生を大切にしています。総合フィルタメーカーとして培ってきた技術や人材を活かし、「環境」「空気」「健康」を重点テーマに、「仕濾過事」の精神のもと、事業活動との親和性を重視した地域・社会貢献活動を推進しています。各拠点や工場が所在する地域を中心に、地域コミュニティやさまざまなステークホルダーとの対話・連携を通じて社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現と地域社会の発展に貢献していきます。

当社グループは、従業員一人ひとりが地域社会の一員として社会課題の解決に貢献できるよう、業務で培った知識や技能を活かした活動に加え、地域に根ざしたボランティア活動への参加を推進しています。

今後も社会のニーズや地域課題を踏まえながらコミュニティへの投資を継続的に見直し、企業理念と事業活動に沿った社会貢献活動を推進することで、地域社会との信頼関係の構築と持続可能な企業価値の向上を目指します。

＜注力領域＞

- 地域社会での環境保全や社会貢献活動の推進
- 次世代への教育・社会機会の創出によるエンパワーメント
- 緊急災害支援やマスクを通じたパンデミック対応

フィルタを通じた地域貢献

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うマスク不足を受け、「マスクもフィルタの一種。総合フィルタメーカーとして社会に貢献したい」との考えのもと、マスクの製造を開始しました。一部の製品は北海道七飯町で委託生産を行い、地域の雇用創出にも寄与しました。

また、人々の健康維持の一助となることを願い、当社のマスク製品を当社の事業拠点がある地元の高校などへ合計約70万枚寄贈しました。寄贈した「究極のヤマシン・フィルタマスク®」には、医療用マスクにも採用されている独自特許技術のナノファイバー製フィルタYAMASHIN Nano Filter®を採用しており、神奈川県では宿泊療養施設や社会福祉施設などで活用されました。

さらに、2026年3月には、明治大学創立150周年事業「紫紺の襷プロジェクト ～Mの輝きを再び～」に賛同し、明治大学体育会競走部(駅伝)の活動を応援するため、当社独自の技術を用いたマスク「Zexeed(ゼクシード)」300枚を寄贈しました。

工場・研究所での地域貢献

佐賀事業所では、地元の工業高校生などの工場見学を受け入れており、進路講話にOBである佐賀事業所の従業員が参加するなど交流を深めています。アクシーでは、週1回約80名の社員が工場の外周歩道の清掃を継続して実施しており、地域の環境美化に取り組んでいます。

海外拠点では、セブ工場に順天堂大学 国際教養学部の教員および学生を受け入れ、工場見学ならびに現地従業員との交流を続けています。また、セブ工場では、環境保全および地域社会との共生を目的として、複数年にわたりマングローブ植樹活動、海岸清掃活動、Earth Hourイベントに従業員が積極的に参加し、地域住民やNGOなどの団体と交流を深めており、継続的な取り組みを支援しています。2025年度には、社員9名が計7時間の海岸清掃活動をし、合計142kgのごみを回収することで、生物多様性および海洋環境の保全に寄与しました。

国内外では地域団体、高校、各種イベントなどに対し、グループとしてこれまでに約1,520万円(マスク寄付も含む)の支援を実施してきました。



マングローブ植樹活動



海岸清掃活動